

平成 27年 06月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

木もちいい「小豆島の家」

グループの名称

「小豆島の家」研究会

直近採択グループ番号

---

※過去に地域型ブランド化事業で  
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

西崎 博史

代表者印

代表者所属先

株式会社西崎組

代表者構成員番号

V-2, VI-2

代表者所在地

香川県小豆郡土庄町湊崎甲1338-2

代表者電話番号

0879-62-0159

(グループ事務局)

事務局事業者名

丸島産業株式会社

事務局構成員番号

II-1, III-1, IV-1, VIII-1

事務局担当者名

板倉 由樹

印

事務局郵便番号

761-4121

事務局所在地

香川県小豆郡土庄町湊崎甲2013-4

事務局電話番号

0879-62-1226

事務局FAX

0879-62-4451

事務局担当者E-mail

itakura@malushima.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	木もちい「小豆島の家」
2. グループの名称(必須)	「小豆島の家」研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	香川県全域
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	西崎 博史
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社西崎組
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	V-2, VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	香川県小豆郡土庄町湊崎甲1338-2
10. グループ代表者電話番号(必須)	0879-62-0159
11. グループ事務局事業者名(必須)	丸島産業株式会社
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	II-1, III-1, IV-1, VII-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	板倉 由樹
14. グループ事務局郵便番号(必須)	761-4121
15. グループ事務局所在地(必須)	香川県小豆郡土庄町湊崎甲2013-4
16. グループ事務局電話番号(必須)	0879-62-1226
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0879-62-4451
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	itakura@malushima.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	2	
V. 設計	15	
VI. 施工	13	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	3	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	大鐸財産区有林	小豆郡土庄町肥土山	『緑の循環』認証会議(SGEC)	2	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅)		地域材加算合計		地域材加算合計	地域材加算合計
	経験工務店+未経験工務店の合計	18 戸	地域材加算合計	18 戸		
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	5 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	13 戸	地域材加算(うち申請が確定)	戸
		うち申請が確定		戸		
	うち申請が未確定	5 戸	うち申請が未確定	13 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	18 戸
		うち申請が未確定		戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	0 戸	地域材加算合計	0 戸	地域材加算(うち申請が確定)	戸
		うち申請が確定		戸		
うち申請が未確定	戸	地域材加算合計	0 戸	地域材加算(うち申請が確定)	戸	
	うち申請が未確定		戸			地域材加算(うち申請が未確定)
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	0 戸	地域材加算合計	0 戸	地域材加算(うち申請が確定)	戸	
	うち申請が確定		戸			地域材加算(うち申請が未確定)
うち申請が未確定	戸	地域材加算合計	0 戸	地域材加算(うち申請が確定)	戸	
	うち申請が未確定		戸			地域材加算(うち申請が未確定)
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物		棟	㎡	棟	㎡
	うち申請が確定	棟				
うち申請が未確定	棟	㎡	棟	㎡		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	登録構成員の申請戸数を基準に平等に配分できるよう協議の上、決定する。				
---	------------------------------------	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸
木造建築物	竣工済	戸	竣工予定	戸
	採択棟数	棟	採択床面積	㎡



























1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木もちい「小豆島の家」	(地域型住宅供給対象地域) 香川県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「小豆島の家」研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	小豆島で植林された桧を地域に根付いた家を建てるために、主要構造材の土台に使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	小豆島で最も利用されており、古来から伝承されている軸組工法とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	小豆島は周りが海なので、外壁にはオプソンの影響が少ない窯業系サイディングが国産の板を使用する。	○
④①～③の背景	小豆島の山林産業の活性化をはかり、小豆島の桧を使用することにより防蟻となり、台風や地震などに対して耐久性のある家を期待できる。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	四国間(950モジュール)を基本とし、土台、柱に105角を使用する。	○
②建材・資材調達共同化や事務の合理化	四国間用資材の共同購入を目指す。	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	木もちい「小豆島の家」で委員会を設置する。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	事務局で共通資材の安定供給をはかる。	◎
b.		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	平成25年省エネ基準に準じた施工をする。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルール設定	地盤調査を必ず行う。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	一式見積りではなく、積算書を作成する。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	定期的に勉強会を実施し、グループの存在を向上させていく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木もちいい「小豆島の家」	(地域型住宅供給対象地域) 香川県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「小豆島の家」研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	○
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	○
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	○
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	○
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		

エ. グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	◎
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	○
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	○
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	○
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木もちいい「小豆島の家」	(地域型住宅供給対象地域) 香川県全域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「小豆島の家」研究会	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅))の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	主要構造材である土台に小豆島産の桧を使用する。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	主要構造材すべてに小豆島産の桧、もしくは合法木材を100%使用する。	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	地域材木材使用量実績表と合法木材証明書を使用する。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	事務局の管理のもと、地域材の需給や価格情報に関する情報をグループ構成員に定期的に配信する。	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	事務局の管理のもと、物件情報を共有と地域材の需給予測を生産の合理化をはかる。	○
c	①-1 畳の活用	和室の良さを施主に説明してPR活動をし、少しでも採用してもらえるよう努める。	○
	①-2 和瓦の活用	和室の良さを施主に説明してPR活動をし、少しでも採用してもらえるよう努める。	○
	①-3 襖の活用	和室の良さを施主に説明してPR活動をし、少しでも採用してもらえるよう努める。	○
	①-4 障子の活用	和室の良さを施主に説明してPR活動をし、少しでも採用してもらえるよう努める。	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	和室の良さを施主に説明してPR活動をし、少しでも採用してもらえるよう努める。	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	土庄町大鐺財産区管理会の山林の管理がよくいきとどき、製品の中には無地ものも多くとれるので、伝統工法である和風真壁の部屋を取り入れることを推奨する。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	温暖な気候で古来から風通しのよい間取りがとりにいられているので、それを継承する。	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	現在の街並みに配慮し、屋根、外壁の材料色彩の統一を目指す。	○
	④和の住まいの要素を取り入れた取組	日差しをさえぎるため、軒を深くする工法を採用することを目指す。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			
その他			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組			
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。